

2024年11月19日掲載 輸送経済新聞

「baton」

11社で共同事業体発足 企業横断型の中継輸送を

広域ネットワークを強 みとする物流関連8社と 東京海上グループ3社 は、企業の垣根を越え物 流業界が直面する課題の 解決に取り組む物流コン ソーシアム（共同事業 体）「baton（パト ン）」を発足し、来年4月 の本格始動へ参画企業を 募る。第1弾として企業 横断型の中継輸送ネット ワーク実現に取り組む。	セノーホールディン クス、第一貨物、トナミ 運輸、トラソコム、新潟 運輸、ハコベル、福山通 運、名鉄運輸の物流関連 8社と、東京海上ホール ディングス、東京海上文 マートモドリテイ、東京 海上自動車火災保険の3社 で発足。トラックドライ バー不足への対応、車両 稼働率・積載率の向上、 国内運送約6万社の収益	体質強化、ドライバーの 労働環境改善といった課 題解決の取り組みを、企 業間連携で促進する。 取り組み第1弾では、 企業横断型中継輸送に向 けた「共創」、国・自治 体との連携に取り組む。 効果的なマッチング、中 継拠点確保・整備、ドラ イバーの労働環境や健康 状態向上、新しい物流形 態に対するリスク管理の
---	--	---

ル発足を防ぐ運用ルール
の事前調整、安定的物量
と中継拠点確保といった
課題を絞り込み、具体策
の社会実装を議論するウ
ーキンググループ（作業
部会）を設ける方針だ。
事務局は東京海上エスマ
ートモドリテイ、東京海
上自動車火災保険が担当。
全日本トラック協会の馬
護雅敏副会長やJ-TIS
総合研究所の松井拓所長
補佐、流通経済大学の大
島弘明教授、東京大学大
学院の西成浩祐教授をア
ドバイザーに迎える。
（水谷 周平）